

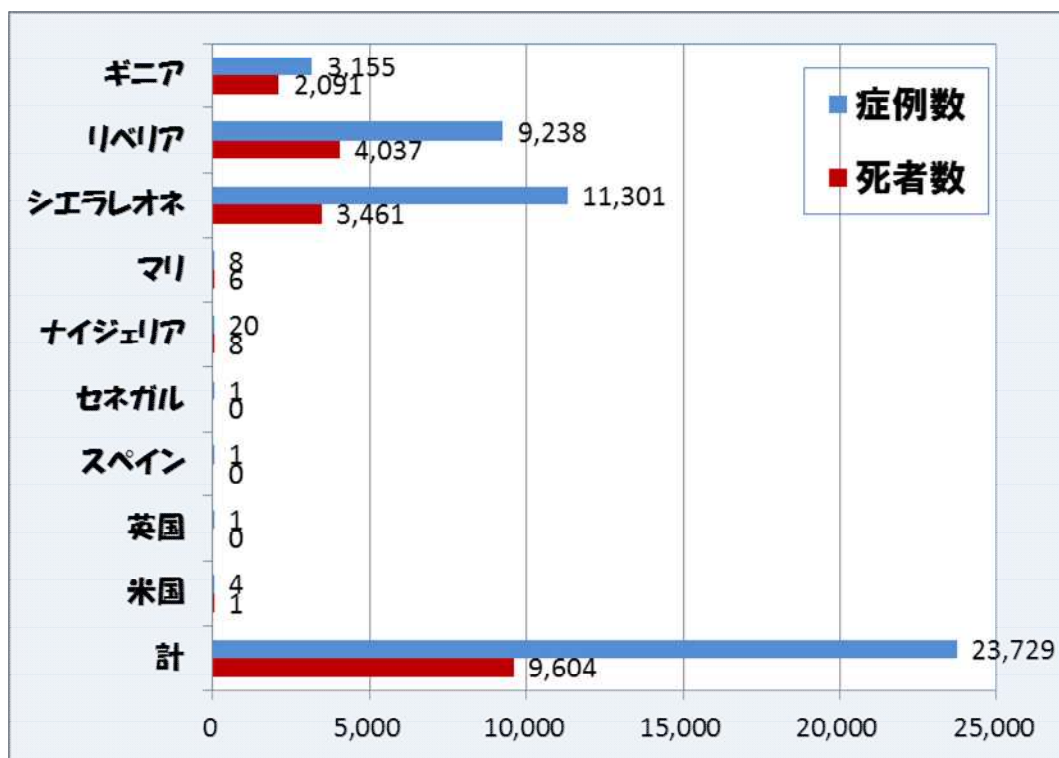
エボラ状況報告 Ebola Situation Report

2015年2月25日

原文：

<http://apps.who.int/ebola/en/ebola-situation-report/situation-reports/ebola-situation-report-25-february-2015>

症例数（死者を含む）（2015年2月22日現在の情報）



概要

- 2月22日までの週に、合計99例のエボラウイルス病（EVD）の新規症例が報告。ギニアからは、35例の新規確定症例が報告。感染経路が特定できない症例の発生が続いている。シエラレオネでは広範囲な感染が発生し、新規確定症例63例を報告。ボンバリ（Bombali）での20例の新規確定症例の発生は、以前に報告された首都フリータウンのアバディーン（Aberdeen）漁場地域での一群の症例と関連あり。また、フリータウンおよびその他の都市（地域）で感染経路が特定できない症例が依然として発生しており、フリータウンでは同じ時期に14例の新規確定症例を報告。リベリアでは、非常に低いレベルの感染が続いており、2月22日までの7日間で1例の新規確定症例を報告（首都モンロビア（Monrovia）で既知の感染経路関連の登録済みの接触者）。
- 効果的に地域と連携することについては、幾つかの地域で課題あり。EVDの拡大に伴う対応努力と関連する頻繁なうわさ話と誤報の結果、2月22日までの週に安全確保の必要な事例がギニアのほぼ1/3の県で報告あり。地域で死亡した人の死後の検査で、ギニアとシエラレオネでは合計16例の新規確定症例を確認。このことは、依然としてかなりの人々がまだ治療を求めることができないか治療に消極的であることを示唆。

理想的には、これらの人々は既知の感染経路と関連した接触者として確認され、初期症状ののち直ちに診断・隔離・治療されることである。ギニアとシエラレオネではそれぞれ 19 例と 15 例の安全でない埋葬例が報告。

- ギニアでの大部分の新規症例は、隣接する西部の 3 つの県からの報告（コナクリ（首都）：6 例、コヤ（Coyah）県：8 例、フォレカリア県（Forecariah）：16 例のいずれも確定症例）。一方、コートジボワールと国境の東部のローラ（Lola）県では 1 例の新規症例を報告。この県では、症例の発生は変動。セネガルと国境のあるマリの北部の県では、1 例の新規確定症例を報告。
- シエラレオネでは、12 月から 1 月末までの全国的な症例発生の急激な減少傾向に変化が認められる。広域的な感染が依然として続いており、8 か所の地区では新規確定症例を報告。依然としてかなりの規模で、感染経路が特定できない症例が発生中。
- 関連した保健省へ結果を報告した検査機関では、84%～98%の検体が 2 月 22 日までの 22 日間に採取後 1 日以内に検査を終了。現在は、どれくらい早く検査結果が伝達されるかという情報はない。
- 2 月 22 日までの週に、3 例の新規医療従事者の感染例あり（ギニアから 2 例、シエラレオネから 1 例）。発生開始からの医療従事者の累積数は 837 症例で、死亡例は 490 例。

滋賀県衛生科学センター内
健康危機管理情報センター（仮訳）